



共同リリース



2019年6月6日
Virgin Orbit
ANAホールディングス株式会社

ANAホールディングスがヴァージン・オービットとのパートナーシップを発表 ～ヴァージン・オービットがアジアで初の事業展開へ～

ANAホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:片野坂真哉、以下「ANAHD」)は、Virgin Orbit(本社:アメリカ合衆国カリフォルニア州、社長兼CEO:DAN HART、以下「ヴァージン・オービット」)の日本・アジア展開に関する契約を結びました。



ヴァージン・オービットの事業内容は、改修したジャンボジェット(ボーイング747-400型機)を利用し人工衛星を打ち上げるものです。航空機を用いることで既存の地上打ち上げ施設とは異なり、柔軟な打ち上げ地点の設定が可能となります。この独自のシステムを活用することで、日本から宇宙へのアクセスをより身近なものとし、人工衛星打ち上げをはじめとした日本の宇宙産業の拡大に貢献いたします。

ANAHDとヴァージン・オービットは長期的な協力関係を結ぶことで合意し、平和利用を目的とした日米の宇宙産業のさらなる関係強化に貢献いたします。

この合意に基づき、ANAHDは、ヴァージン・オービットの日本やアジアにおける打ち上げサービスのための輸送支援や、航空機と地上支援機材(航空機牽引車など)の整備もしくは運航支援において、協力関係を築くための協議を開始しました。

ANAHDは一般社団法人スペースポートジャパン(以下「SPJ」)とも連携して国内における宇宙機離発着場に関する検証を行っており、ヴァージン・オービットの日本におけるサービス開始に最適な打ち上げ場所の選定に向けてSPJと協力し、日本がアジアにおける宇宙輸送ハブになることを目指します。

以上

このリリースに関するお問い合わせ先

◆ヴァージン・オービット Kendall Russell

kendall.russell@virginorbit.com

◆ANAホールディングス株式会社 広報・コーポレート推進部

03-6735-1111